

全鉄連流通動態調査結果表 2020年10月分

(2020.11.25)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前月在庫量		仕入量		販売量		当月在庫量		
		9月実績	前月比	10月実績	前月比	10月実績	前月比	10月実績	前月比	
異形棒鋼	東京	5,677	105.3%	44,433	103.6%	45,286	106.3%	4,824	85.0%	
	大阪	2,521	95.4%	16,941	94.5%	16,921	93.8%	2,541	100.8%	
	愛知	2,885	99.0%	5,456	79.2%	5,425	78.5%	2,916	101.1%	
	計	11,083	101.3%	66,830	98.7%	67,632	100.1%	10,281	92.8%	
形鋼	山形鋼	東京	17,055	99.5%	8,750	111.7%	9,117	115.2%	16,688	97.8%
		大阪	18,659	99.2%	10,615	119.4%	9,282	102.7%	19,992	107.1%
		愛知	7,127	102.4%	5,228	107.1%	5,070	107.5%	7,285	102.2%
		計	42,841	99.8%	24,593	113.9%	23,469	108.3%	43,965	102.6%
	溝形鋼	東京	14,942	97.9%	6,128	113.7%	6,236	109.3%	14,834	99.3%
		大阪	10,378	100.3%	5,965	101.4%	6,043	103.2%	10,300	99.2%
		愛知	4,981	100.1%	3,851	118.0%	3,632	111.5%	5,200	104.4%
		計	30,301	99.1%	15,944	109.7%	15,911	107.4%	30,334	100.1%
	H形鋼	東京	28,019	102.0%	17,230	111.9%	17,280	116.3%	27,969	99.8%
		大阪	43,280	103.5%	26,551	100.3%	27,504	109.9%	42,327	97.8%
		愛知	17,460	106.8%	9,241	77.8%	10,044	93.2%	16,657	95.4%
		計	88,759	103.6%	53,022	98.6%	54,828	108.2%	86,953	98.0%
合 計		161,901	101.7%	93,559	104.1%	94,208	108.1%	161,252	99.6%	
コ ラ ム	東京	8,389	106.3%	3,401	96.4%	3,315	109.4%	8,475	101.0%	
	大阪	15,065	107.4%	3,427	94.5%	3,290	127.0%	15,202	100.9%	
	愛知	1,187	105.8%	862	80.4%	807	80.1%	1,242	104.6%	
	計	24,641	106.9%	7,690	93.5%	7,412	111.9%	24,919	101.1%	
軽量C形鋼	東京	3,308	96.3%	2,410	125.7%	2,288	111.8%	3,430	103.7%	
	大阪	2,853	95.4%	1,866	127.6%	1,806	112.9%	2,913	102.1%	
	愛知	2,185	98.8%	1,080	111.1%	1,143	114.5%	2,122	97.1%	
	計	8,346	96.6%	5,356	123.1%	5,237	112.8%	8,465	101.4%	
総 計		205,971	102.1%	173,435	101.9%	174,489	105.1%	204,917	99.5%	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 東京30 大阪20 愛知13 合計63社

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

〔調査内容変更について〕

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品種ながら、市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しが提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し、上記のとおり発表することとなった。

その変更内容は①調査対象品種にコラムを追加②調査対象品種よりプレーン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、平成13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数量をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。